

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和6年6月

（1）令和6年度の活動へ向けて意欲新たに活動をすすめる「はるあぐの会」

5月29日、知名町ではるあぐの会（女性農業経営士会）総会が開催されました。木之下会長からは、「仲間を増やすため、和泊町の女性農業者組織スマイル&フレッシュと合同での研修を増やそう」会員からは、「女性農業経営士以外を準会員として位置付け、活動に参加してもらいたい」等活動活性化に向けた多くの前向きな意見が出ました。今後も町と連携しながら、若手女性農業者には研修の際は声かけをして、女性農業者組織の活動を支援していきます。

（2）与論町7集落で地域計画策定に向けて集落の農業を語る

5月20日から6月13日にかけて与論町7集落で地域計画策定に向けた協議が行われました。会には、地域の農家延べ85名と関係機関が参加し、3班に分かれてブレインストーミング法により、農業を活性化させるためのアイデアについて話し合い、集落の優先項目を決めました。話し合いでは、土地・機械の活用、儲かる農業、人・後継者を増やす方法について多くのアイデアが出されました。与論町では3校区の地域計画案作成を予定しており、今後も地域農業の発展に向けて支援していく予定です。

（3）スマートフラワー出荷安定に向けた実証を実施

6月12日、東京の大田花き市場にて花き専門農協、生産者、市場関係者を交えた沖永良部産スプレーギク、ソリダゴのスマートフラワーの輸送実験の確認を行いました。6月9日に水揚剤の有無や冷蔵期間等、異なる処理法の切り花を3種類の梱包材で包み、船便と航空便で発送した切り花の状態を調査しました。開梱時の状態はすべて概ね良好でしたが、航空便はやや劣化が早いと全員が評価しました。今後は鑑賞期間も含めた総合評価を行い、安定出荷技術の確立を図る予定です。



（4）かごしまブランド沖永良部ばれいしょの出荷実績

令和5年産のJAあまみ和泊・知名のばれいしょの出荷実績は、面積633ha（前年比108%）数量9,099t（前年比138%）金額1,913百万円（前年比121%）となりました。植付け時期は干ばつの影響を受けましたが、12月下旬からの降雨で生育は回復し、やや大玉傾向となりました。生育後半の3～4月の高温多雨により腐敗も見られましたが、出荷量は前年を上回る結果となりました。今後も継続して安定生産に向けて、関係機関と連携を図っていきます。